

住宅性能診断士 ホームズ君 製品情報・バージョンアップのご案内



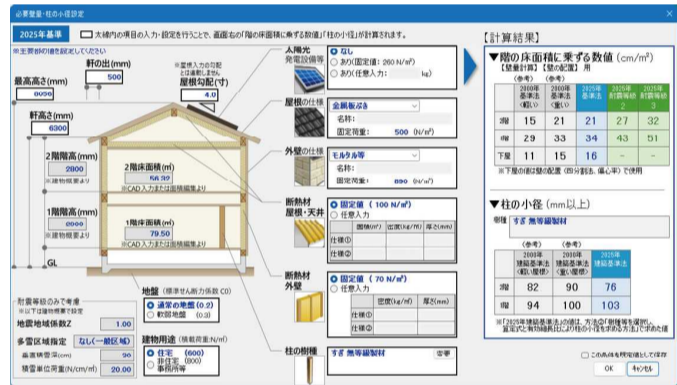
2024/9/10 更新

「住宅性能診断士 ホームズ君」の最新の製品情報およびバージョンアップ情報をお知らせします。多彩な機能強化・バージョンアップが引き続き予定されています。また、法令や診断基準の改正等があった場合にもバージョンアップで迅速に対応いたしますので、いつでも最新の基準で計算を行うことができます。バージョンアップサービスをご利用いただくためには「すまいの安心フォーラム」のご契約が必要です。
※オプションに関するバージョンアップは、オプション（別途有償：会員様特別価格あり）を購入されている必要があります。

構造 EX

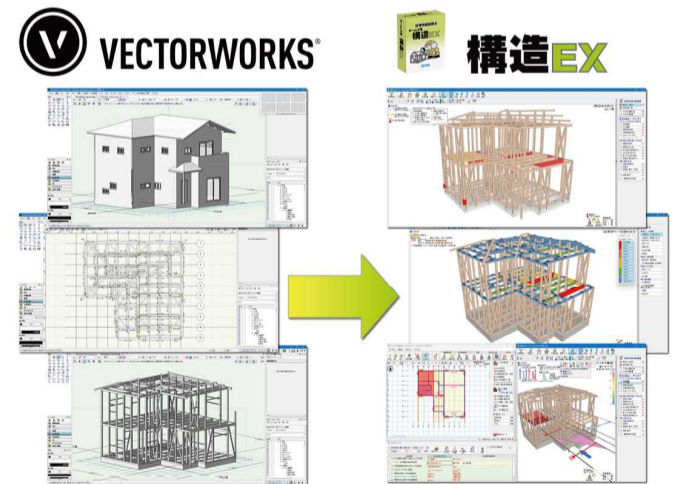
2025年4月施行：改正建築基準法対応
2024年10月 Ver.5 アップグレード予定

- 2025年の建築基準法改正予定の以下の項目に対応します。
- 「壁量計算」(令第46条第4項)
 - 必要壁量の計算方法のうち、以下の2つに対応
 - 建築物の荷重の実態に応じて、算定式により、必要な壁量を算定
 - 構造計算(許容応力度計算等)により安全性を確認する(壁量の確認が省略可能)
 - 存在壁量として、準耐力壁や垂壁・腰壁等を算入可能とする
 - 壁1か所あたりの合計壁倍率の上限を従来の5倍から7倍に引き上げ
 - 「壁の配置」4分割法(告示第1100号第4)
 - 壁量計算と同じく必要壁量と存在壁量の計算方法を変更
 - 「柱頭柱脚金物算定」N値計算(告示第1460号第二号ただし書き)
 - 壁1か所あたりの合計壁倍率上限を従来の5倍から7倍に引き上げ
 - 「柱の小径」(令第43条、告示第1349号)
 - 柱の小径の計算方法として建築物の荷重の実態に応じて、
 - 座屈の検定式(樹種：すぎ固定)、②座屈の検定式(樹種：任意選択)、③柱の負担面積 の3つの算定方法による検定が可能
 - 「許容応力度計算」(令第82条の6、告示第1100号第5)
 - 許容応力度計算により2階建てまたは平屋の建築物の安全性を確認する場合は、壁量計算の省略が可能となる



BIMソフトとのデータ連携
2024年10月 Ver.5 アップグレード予定

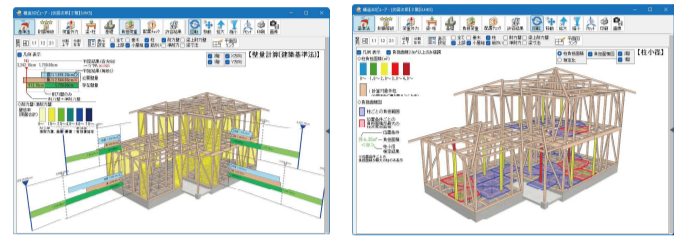
AUTODESK社「REVIT」、Graphisoft社「Archicad」に続き、エアードエー株式会社のBIMソフトウェア「Vector Works Architect」からホームズ君「構造EX」へのデータ連携が可能になりました。入力手間やミスの削減、ソフト間の不整合を防止します。今後はさらに連携可能BIMソフトの拡充、双方向のデータ連携を目指します。



構造 EX

構造3Dビューア「建築基準法モード」追加
2024年10月 Ver.5 アップグレード予定

壁量計算(必要壁量・存在壁量)、壁の配置(偏心率・四分割法)、柱頭柱脚接合部(N値・金物)、柱小径(負担面積・検定比)などを建物3Dモデル上に表示。上下階の不整合のチェックや、各構造規定の検定について、直感的に確認可能。どれぐらい余裕をもって検定OKになっているのか、設計者の判断に役立ちます。



斜め壁入力の強化(斜めグリッド・斜め補助線)
2024年10月 Ver.5 アップグレード予定

斜め壁の入力が簡単に行えるようになります。グリッド全体を指定角度で傾斜でき、通常の直行グリッドとの組み合わせも可能。特定の壁線のみが斜めになっている場合、部分的に「斜めの補助線」を追加することも可能に。

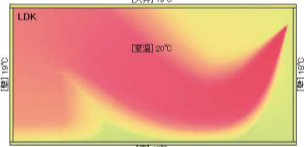
省エネ診断 エキスパート

室温シミュレーションエンジン「EnergyPlus」を搭載
2023年5月バージョンアップ

パッシブ設計オプションの「室温シミュレーション・動的熱負荷計算」の計算エンジンとして、世界的に広く使用されている建物の室温・動的熱負荷計算のエンジン『EnergyPlus』version 22.1.0を搭載しました。外皮平均熱貫流率(UA値)ではわからない、室温や光熱費を敷地の条件や日当りを考慮して精緻に予測し、設計することで、施主に対して建物の省エネ性能、快適性をアピールする強力なツールとなります。

エアコンの温風・冷風が見える!「熱流イメージ」表示機能追加
2023年5月バージョンアップ

「室温シミュレーション」の表示に、エアコンを運転した際の「熱流イメージ」を追加しました。指定した日時の室温や床や壁の表面温度下でのエアコン運転による温風(または冷風)の流れ方や分布状況を確認できます。
※本機能を利用するにはパッシブ設計オプションが必要です。



実製品ベースの断熱仕様例の追加
2023年2月バージョンアップ

YKK AP株式会社様、断熱材メーカー様各社のご協力のもと、断熱等性能等級5~7の各部位の断熱仕様例を地域別に用意しました。上位等級の設計・検討の際にぜひご活用ください。

部位	断熱仕様例
天井	断熱材A
床	断熱材B
壁	断熱材C
窓	断熱材D

耐震診断 Pro

2025年の建築基準法改正への対応
2024年10月 Ver.5 アップグレード予定

- 2025年の建築基準法改正予定の以下の項目に対応します。
- 「壁量計算」(令第46条第4項)
 - 必要壁量の計算方法のうち、以下の2つに対応
 - 建築物の荷重の実態に応じて、算定式により、必要な壁量を算定
 - 構造計算(許容応力度計算等)により安全性を確認する(壁量の確認が省略可能)
 - 存在壁量として、準耐力壁や垂壁・腰壁等を算入可能とする
 - 壁1か所あたりの合計壁倍率の上限を従来の5倍から7倍に引き上げ
 - 「壁の配置」4分割法(告示第1100号第4)
 - 壁量計算と同じく必要壁量と存在壁量の計算方法を変更
 - 「柱頭柱脚金物算定」N値計算(告示第1460号第二号ただし書き)
 - 壁1か所あたりの合計壁倍率上限を従来の5倍から7倍に引き上げ
 - 「柱の小径」(令第43条、告示第1349号)
 - 柱の小径の計算方法として建築物の荷重の実態に応じて、
 - 座屈の検定式(樹種：すぎ固定)、②座屈の検定式(樹種：任意選択)、③柱の負担面積 の3つの算定方法による検定が可能

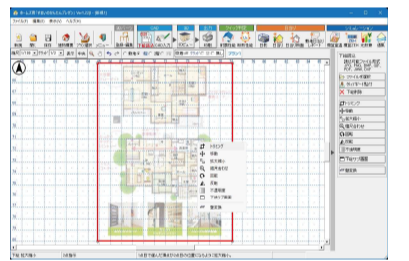
「下絵読込」「JW-CAD データ読込」機能を追加
2024年4月バージョンアップ

すまいのかんたんプレゼンと同様の機能が追加されました。

すまいのかんたんプレゼン

「下絵読込モード」機能を追加
2024年3月バージョンアップ

平面図やスマホで撮影した手書きスケッチなどを下絵として読み込み、上からなぞるだけで間取り作成が可能に。下絵の平面図を「壁線認識処理」により「壁」データに変換できます。



「JW-CAD データ(JWW) 読込」機能を追加
2024年3月バージョンアップ

JWW ファイル内の「壁」データをホームズ君の「壁」データとして取り込めます。

あっと簡単見積

3階建てに対応
2023年7月バージョンアップ

ユーザー様からご要望の多かった「3階建て」に対応しました。他のホームズ君製品の「3階建て」プランとのデータ連携が可能となりました。

インボイス制度対応(単一税率対応※)
2022年12月バージョンアップ

2023年10月に開始するインボイス制度に対応しました。「適格請求書(インボイス)」の記載要件(登録番号・適用税率・税率ごとに区分した消費税額等)を満たす請求書の印刷が可能。
※建築見積を扱うソフトであるため、建築見積に適用となる単一税率(10%)への対応となります。帳票では、軽減税率(8%)の対象欄が0円で表示されます。

ホームズ君からのお知らせ

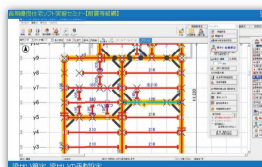
会員限定 ソフト実習セミナー動画
マイページからご視聴ください

マイページの会員専用コンテンツから、いつでもどこでも何度でもご視聴できます。ダウンロードできる資料もご用意しています。

EX 許容応力度計算(木造2階建て住宅編)



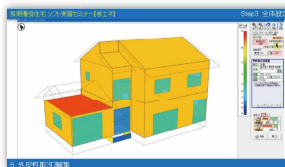
EX 長期優良住宅(耐震等級編)



Pro 耐震診断・補強設計(耐震診断 Pro 入門編)



省エネ 長期優良住宅(省エネ編)



令和6年 R6 能登半島地震 「学ぼう! ホームズ君」にて、令和6年能登半島地震に関する特設サイトを開設しています

学ぼうホームズ